

高効率排水処理システム

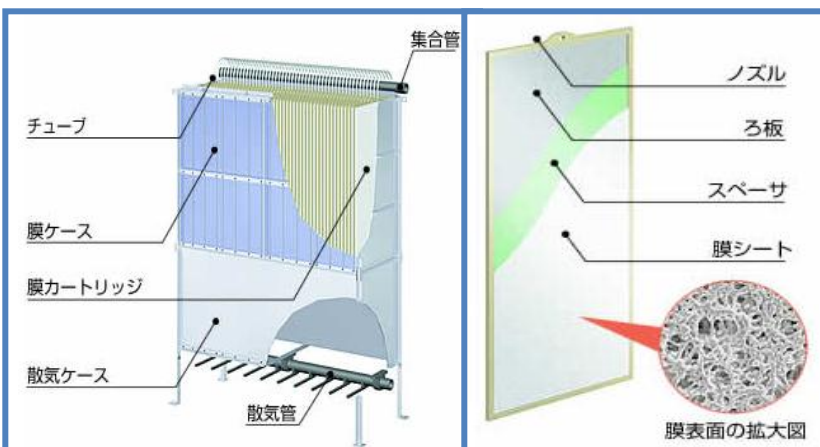
①浸漬膜分離活性汚泥法



浸漬膜分離システム利用により、高度で安定した処理性能を確保、又省スペース・安易管理な設備をご提案します

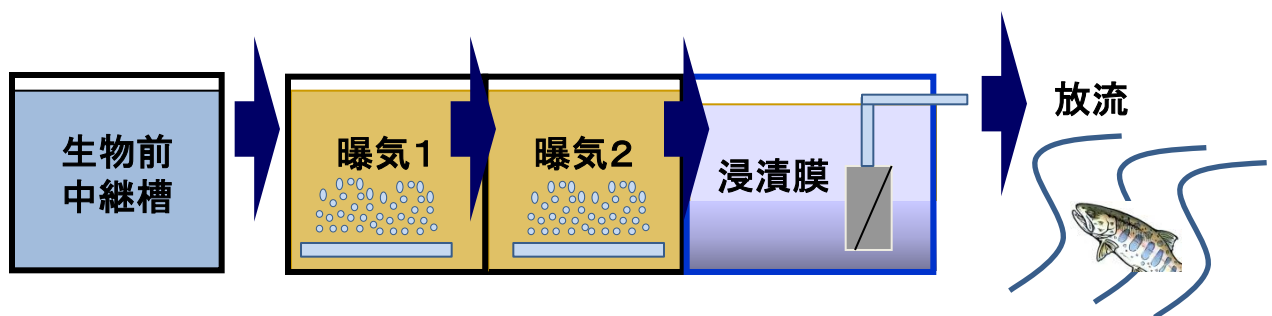
提案内容

◇ 浸漬膜のしくみ



◇膜カートリッジ
微細なる過孔($0.4\mu\text{m}$)によりSS(2mm以下)や大腸菌等(幅 $0.4\sim 0.7\mu\text{m}$)が含まれない清澄かつ衛生学的安全性の高い処理水を得ることができます

◇ 浸漬膜排水処理システム:参考フロー



特長

1. 活性汚泥の高濃度運転かつ固液分離ろ過により沈殿槽不要
2. 汚泥の沈降管理が不要で人手がかからない設備
3. 従来に比べ曝気槽が $1/2\sim 1/3$ になり設置面積コンパクト
4. 処理フローがシンプルで負荷変動に強い。
5. 浸漬膜による固液分離によりSSをシャットアウト
6. 既存の設備を利用した場合処理能力のUP(約2倍)が容易

導入実績

◇健康食品工場での導入事例

顧客要求：能力増強、処理水SSの安定化

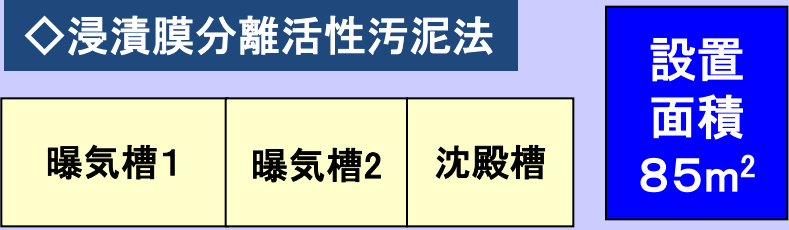
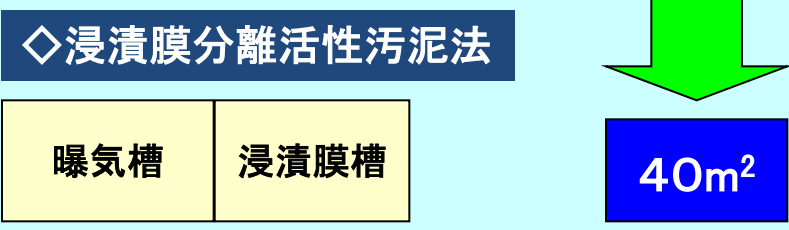
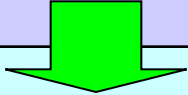
既存設備（活性汚泥）流用したうえで

現状の処理能力＝120m³／日を220m³／日に増強したい対応：100m³／日の浸漬膜処理システムを導入し、

最小限の設置スペースで設備化

処理水SSの安定化を図った

【 導入の効果 】

能力	処理フロー、設置スペース	水質実績値
既設 120m ³ /日	◇浸漬膜分離活性汚泥法 	BOD 20mg/L COD 29mg/L SS 40mg/L
新設 100m ³ /日	◇浸漬膜分離活性汚泥法 	 BOD 2mg/L COD 10mg/L SS 1mg/L
効果	処理スペースは約1/2	高い品質

河川放流基準

【 BOD 60mg/L、COD 30mg/L、SS 50mg/L 】

導入後のお客の声

1. SS流出の心配がなくなり運転管理が楽になった
2. 処理水質が法基準値の1/3以下と安定したため安心できる
3. INPUTの負荷変動、又季節変動に強くなった
4. 省スペースでの増強ができた

イビデンエンジニアリング株式会社 プラントシステム事業部



〒岐阜県大垣市木戸町1122番地
 TEL:0584-75-2302 FAX:0584-73-8709
 ホームページ: <http://www.ibieng.co.jp>

特定建設業・一般建設業
 岐阜県知事許可
 19-001602号

